

病室から遠隔で授業に参加

【活用したICT機器、ソフトや機能等】 1人1台端末、テレプレゼンスロボット

病室から子供が操作することができるテレプレゼンスロボットを学校の教室の自分の机に置いて、学習活動を展開している。

○テレプレゼンスロボットの活用

据え置き型

教室で授業を受けている児童生徒と病室から遠隔で授業を受けている児童が個々に支援を行わなくても進めていけるスピード感・一体感が、『つながり』を感じることができようとしている。

自走型

自分で操作して見たい所に行き、得たい情報や新しい発見ができた時には、『自分で探した』という達成感を味わうことができるようにしている。

